

- ③ 期 日 昭和51年10月6日～8日
- ④ 会 場 福島県教育センター
- ⑤ 参 加 者
小・中・養護学校の昭和51年度採用の事務職員
- ⑥ 講 師
県教育庁義務教育課長、主幹、管理主事、総務課主任
主査兼給与係長、財務課主査、主事
- ⑦ 内 容
- ア 事務職員の職務
- イ 教職員の服務・勤務について
- ウ 給与関係事務について
- エ 各種補助金関係について

(7) 県立学校長研修会

- ① 目 的
県立学校長に対し、学校管理運営上の諸問題並びに、
学習指導・生徒指導に関する研究を深め、管理職としての
現職教育に資する。
- ② 主 催 福島県教育委員会
- ③ 期間・会場
昭和51年5月11日(火)～5月13日(木)
福島県教育センター
- ④ 参 加 者
県立学校長経験年数3年未満(ただし昭和51年度を含
む)に該当する県立学校長
- ⑤ 研修内容

- ア 講 演
- 「人を生かす」
三菱信託銀行仙台支店長 呉 守 夫
- 「現代と教育について」
東北大学教授 塚 本 哲 人
- 「当面する県政の諸問題」
福島県出納長 岡 崎 正 彦

- イ 研究協議題
- (指導班)
- (ア) 多様な生徒が入学している現状に対処して、授
業研究をどのようにすすめるか。
- (イ) 生徒の生活の規律をただすためには、校長とし
てどのような配慮が必要か。
- (管理班)
- (ウ) 職場における人事管理の諸問題
- (エ) 校務分掌の整え方

(8) 県立学校教頭研修会

- ① 目 的
県立学校教頭に対し、学校管理運営上の諸問題並びに
学習指導・生徒指導に関する研究を深め、管理職としての
現職教育に資する。
- ② 主 催 福島県教育委員会
- ③ 期日・会場
昭和51年5月6日(木)～8日(土)
福島県教育センター
- ④ 参 加 者
県立学校教頭約経験年数3年未満(ただし昭和51年度を
含む)に該当する教頭

- ⑤ 研修内容
- ア 講 演
- 「新しい価値観と社会的現実」
東北大学助教授 田 原 音 和
- 「実存的教育観と教師」
郡山女子大学教授 長谷川 寿 郎
- イ 講 義
- 「本県における高校教育の諸問題」
高等学校教育課長 高 橋 幸 一
- 「主任制度についての諸問題」
高等学校教育課主幹 大 槻 進
- ウ 協議・質疑
- 〈発表テーマ〉

- (ア) 本校における管理運営の現状について
- (イ) 実情に即した教育課程の編成について
- (ウ) 校務運営の組織の改善について
- (エ) 職業教科の現職教育について
- (オ) 定・通教育の問題点について
- (カ) 重複障害児教育の問題点について

(9) 県立学校中堅教員研修会

- ① 目 的
県立学校と教務主任、学年主任等の中堅教員(学校運
営上主要な職にあるもの)に対し、学校管理運営上の諸
問題について研修を行い、中堅教員としての資質の向上
を図る。
- ② 主 催 福島県教育委員会
- ③ 期日・会場
9月6日(月)～9月13日(金) 国立磐梯青年の家
- ④ 対 象 県立学校中堅教員 82名
- ⑤ 内 容

- ア 講 演
- わが回顧と反省
元会津女子高等学校長 小 林 貞 治
- イ 講義並びに研修題
- 中堅教員に期待する
高校教育の課題
教育課程改訂の動向と問題点
最高裁判決について
最近における生徒指導上の諸問題
学習指導の改善
校内研修組織の確立と授業研究
特殊教育について
校務分掌と職務命令
勤務と給特法
- ウ 班別研修テーマ
- 生徒の能力・適性に応じた学習指導はどうあるべき
か、
生徒指導を進めるうえで、家庭との連けいをどのよ
うに図ったらよいか。
主任の学校経営上の実践。
校内研修に果たす中堅教員の役割。

(10) 県立学校新採用教員研修会

- ① 目 的